



システムのモニタリングとレポート作成

この章は、次の項で構成されています。

- [ダッシュボード, 1 ページ](#)
- [サマリー, 3 ページ](#)
- [インベントリ管理, 3 ページ](#)
- [リソースプール, 4 ページ](#)
- [クラスタ, 5 ページ](#)
- [イメージ, 5 ページ](#)
- [ホストノード, 7 ページ](#)
- [仮想マシン \(VM\) , 7 ページ](#)
- [トポロジ, 8 ページ](#)
- [アセスメント, 9 ページ](#)
- [レポート, 9 ページ](#)

ダッシュボード

Cisco UCS Director では、ユーザインターフェイスにて、[ダッシュボード (Dashboard)]オプションを有効にすることができます。[ダッシュボード (Dashboard)]ページで重要もしくはアクセス頻度の多いレポートのウィジェットを追加できます。[ダッシュボード (Dashboard)]オプションを有効にすると、このウィンドウはユーザインターフェイスからログインしたときに最初に表示されます。

ダッシュボードの有効化

はじめる前に

このタスクを完了するには、アプライアンスにログインする必要があります。

-
- ステップ1 ウィンドウの右上で、[管理者 (admin)] をクリックします。
 - ステップ2 [ダッシュボード (Dashboard)] タブを選択します。
 - ステップ3 [ダッシュボードの有効化 (Enable Dashboard)] チェック ボックスをオンにします。
 - ステップ4 [適用 (Apply)] をクリックします。
-

レポート ウィジェットの追加

はじめる前に

このタスクを完了するには、アプライアンスにログインする必要があります。

-
- ステップ1 メニュー バーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
 - ステップ2 左側のパネルから、クラウドの名前を選択します。
 - ステップ3 表示するレポートタイプのタブを選択します。
 - ステップ4 レポートの右上で下矢印をクリックします。
 - ステップ5 [ダッシュボードに追加 (Add to Dashboard)] を選択します。
-

ウィジェット データの更新

[ダッシュボード (Dashboard)] オプションを有効にすると、このページのウィジェットに更新間隔を設定できるようになります。自動更新は最低 5 分から最大 60 分間隔で発生します。

間隔を設定するには、ダッシュボードの [自動更新 (Automatic Refresh)] ボタンを [オン (ON)] に設定する必要があります。

サマリー

[サマリー (Summary)] ウィンドウでシステムインベントリを管理することができます。このウィンドウではさまざまな表、図、およびマップレポートを利用できるほか、インベントリライフサイクル活動の管理に役立ちます。

各レポートは、ウィジェットとして表示されます。レポートを表示しないようにカスタマイズできます。

仮想マシン、クラウド、およびシステムのサマリー情報

ステップ 1 メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。

ステップ 2 [サマリー (Summary)] タブを選択します。
すべての情報がテーブル、グラフ、チャートの形式で表示されます。

サマリー レポート ウィジェットのカスタマイズ

ステップ 1 メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。

ステップ 2 [サマリー (Summary)] タブを選択します。

ステップ 3 [カスタマイズ (Customize)] アイコンをクリックして、使用可能なレポートウィジェットを起動します。

ステップ 4 ウィジェットを、[ダッシュボード (Dashboard)] をクリックアンドドラッグします。

ステップ 5 レポートをダブルクリックしてビューを拡大するか、またはレポートの右上をクリックして、[ビューの展開 (Expand View)] を選択します。

ステップ 6 スライダーを使用して、[ダッシュボード (Dashboard)] に表示されるレポートのサイズを調整します。

インベントリ管理

[ダッシュボード (Dashboard)] を使用して、システムインベントリをモニタできます。[ダッシュボード (Dashboard)] には、管理運営に対するシステム全体のレベルのインフラストラクチャ情報が表示されます。

システム インベントリの詳細情報へのアクセス

ステップ1 メニュー バーで、[仮想 (Virtual)]>[コンピューティング (Compute)]の順に選択します。

ステップ2 左側のパネルから、クラウドの名前を選択します。

ステップ3 詳細情報を表示するタブを選択します。
各クラウド用に表示されるタブの一覧は次の通りです。

- サマリー
 - ポーリング
 - VDC
 - クラスタ
 - ホスト ノード
 - リソース プール
 - VM
 - VM アクション リクエスト
 - イベント
 - アセスメント
 - アプリケーション カテゴリ
 - データセンター
 - SRM サイト
-

リソース プール

[リソースプール (Resource Pools)]タブにはホスト ノードレベルでのリソースの詳細が表示されます。これらの詳細には、CPU 設定予約、CPU 制限値、使用済みCPU、使用済みメモリが含まれます。

リソースの詳細情報へのアクセス

- ステップ 1** メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
- ステップ 2** 左側のパネルから、クラウドの名前を選択するか、[すべてのクラウド (All Clouds)] を選択します。
- ステップ 3** [リソースプール (Resource Pools)] タブを選択します。
選択されたクラウドのリソースプールがすべて表示されます。リソースプールを選択するか、[詳細の表示 (View Details)] をクリックし各リソースプールの詳細情報を表示できます。

クラスタ

ポッドがクラスタを含む場合、[クラスタ (Clusters)] タブには、すべてのクラスタ関連情報が表示されます。

クラスタへのアクセス

- ステップ 1** メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
- ステップ 2** 左側のパネルの [すべてのクラウド (All Clouds)] を選択するか、特定のクラウドの名前を選択します。
- ステップ 3** [クラスタ (Clusters)] タブを選択します。
選択したクラウドアカウントで使用可能な全てのクラスタが表示されます。特定のクラスタの選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

イメージ

[イメージ (Images)] タブには、使用可能なすべてのイメージ ID、およびその詳細が表示されます。これらのイメージにはゲスト OS、CPU、メモリ、およびプロビジョニングされているストレージが含まれます。これらのイメージ ID を使用して、新しい仮想マシン (VM) をプロビジョニングできます。自身がグループ管理者または MSP 管理者の場合は、グループに割り当てられているイメージがこの [イメージ (Images)] タブ上に表示されます。

特定の VMware クラウドアカウントを選択し、[イメージ (Images)] タブを選択すると、イメージをグループまたはユーザに割り当てることができます。特定のグループまたはユーザに割り当てられたイメージがそのグループの管理者がシステムにログインした際に表示されます。

イメージへのアクセス

-
- ステップ 1** メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
- ステップ 2** 左側のパネルから [すべてのクラウド (All Clouds)] を選択するか、特定のクラウドアカウントを選択します。
- ステップ 3** [イメージ (Images)] タブを選択します。
 選択したクラウドの関連イメージのリストが表示されます。特定のイメージを選択して、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
-

ユーザまたはグループへの VM イメージの割り当て

管理者として、ユーザまたはグループに特定の VM イメージを割り当てることができます。カタログの作成などの VM のプロビジョニングタスクを実行したときに表示されるイメージがフィルタが割り当てられます。

-
- ステップ 1** メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
- ステップ 2** VMware クラウドを選択し、[イメージ (Images)] タブを選択します。
- ステップ 3** テーブルからイメージを選択します。
- ステップ 4** [グループへのイメージの割り当て (Assign Image to Group)] をクリックします。
- ステップ 5** イメージをグループに割り当てするには、[グループへのイメージの割り当て (Assign Image to Group)] ダイアログボックス内で、[選択 (Select)] をクリックします。
- ステップ 6** 個々のユーザのイメージを割り当てするには、[グループへのイメージの割り当て (Assign Image to Group)] ダイアログボックスの次のフィールドに入力します:

名前	説明
[ユーザに割り当て (Assign to Users)] チェックボックス	特定のユーザにイメージに割り当てするには、チェックボックスをオンにします。
[ユーザ (User)] フィールド	[選択 (Select)] をクリックして、イメージを割り当てるユーザの名前を確認します。

- ステップ 7** [送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 8** [OK] をクリックします。
-

ホストノード

[ホストノード (Host Nodes)] タブには、インフラストラクチャで使用できるすべての物理ホストノードが表示されます。タブは、インストールされている ESX/ESXi バージョン、アクティブな VM、電源の状態などの詳細情報を表示します。

ホストノードへのアクセス

はじめる前に

このタスクを完了するには、アプライアンスにログインする必要があります。

-
- ステップ1 メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
 - ステップ2 [ホストノード (Host Nodes)] タブを選択します。
 - ステップ3 ツールバーのドロップダウンリストから、[レポート (Report)] タイプを選択します。
-

仮想マシン (VM)

[VM] タブには、選択したクラウドのすべての VM と各 VM の詳細が表示されます。

VM へのアクセス

-
- ステップ1 メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
 - ステップ2 [VM] タブを選択します。
すべてのクラウドアカウントのすべての仮想マシンが表示されます。VM クライアントの起動または VM の電源オフなどの VM の追加タスクを実行できます。詳細については、[VM アクションの管理](#)を参照してください。
-

グループレベル VM へのアクセス

-
- ステップ 1** メニューバーで、[組織 (Organizations)] > [仮想リソース (Virtual Resources)] > [] を選択します。
- ステップ 2** 左側のパネルから、グループを選択し、[VM] タブを選択します。
選択済みグループのすべての仮想マシンが表示されます。VM クライアントの起動または VM の電源オフなどの VM の追加タスクを実行できます。詳細については、[VM アクションの管理](#)を参照してください。
-

トポロジ

[トポロジ (Topology)] タブには VMware クラウド トポロジが表示されます。表示モードタイプには、[階層 (Hierarchical)]、[同心 (Concentric)]、[円形 (Circular)]、および[強制の実行 (Force Directed)] の4つがあります。表示モードによって、項目のスペース設定、距離、半径、厳密性、および強制距離を調整できます。

トポロジタイプへのアクセス

はじめる前に

このタスクを完了するには、アプライアンスにログインする必要があります。

-
- ステップ 1** メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
- ステップ 2** 左側のパネルから、クラウドの名前を選択します。
- ステップ 3** [トポロジ (Topology)] タブを選択します。
- ステップ 4** トポロジタイプ ([Hostnode データストア トポロジ (Hostnode-Datastore Topology)] または [Hostnode VM トポロジ (Hostnode-VM Topology)] のいずれか) を選択します。
- ステップ 5** ツールバーで [接続の表示 (View Connectivity)] ボタンをクリックします。トポロジが新しいウィンドウに表示されます。
- (注) すべてのトポロジタイプが表示されるわけではありません。
-

アセスメント

[アセスメント (Assessment)] タブには、アセスメントレポート (クラウド対応状況、仮想化のベストプラクティス、パフォーマンス最適化、容量、電源最適化など) が表示されます。

評価へのアクセス

はじめる前に

このタスクを完了するには、アプライアンスにログインする必要があります。

-
- ステップ 1** メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
 - ステップ 2** 左側のパネルから、クラウドの名前を選択します。
 - ステップ 3** [評価 (Assessment)] タブを選択します。
 - ステップ 4** [レポート (Report)] ドロップダウンリストから、レポートタイプを選択します。
-

レポート

Cisco UCS Director は、仮想インフラストラクチャおよびシステムリソースをモニタすることができます。これらはシステムのパフォーマンスに関する情報を提供するさまざまなレポートを表示します。

以下にレポートのタイプを示します。

- システム情報に関する表形式のレポート。概要、ホストノード、新しい VM、および削除された VM が含まれます。
- 棒グラフおよび円グラフによる比較。アクティブな VM と非アクティブな VM、プロビジョニングされた CPU とキャパシティの比較などが表示されます。
- システムリソースに関するトレンドグラフ。CPU のトレンド、メモリのトレンド、VM の追加および削除などが含まれます。
- その他のレポートには、グループ、VDC、ホストノード、および VM レベルの上位 5 つのレポートがあります。上位 5 つのレポートは、VM の数が最も多いグループ、CPU 使用率が最大のグループ、VM の数が最も多い VDC、CPU 使用率が最大のホストノードなどです。
- マップレポートは、ヒートマップまたは色分けされたマップの形式でシステムリソース情報を表示します。

特定のアカウント (たとえば KVM アカウントなど) について、追加の傾向レポートを利用することもできます。傾向レポートには、選択した期間内のデータが表示されます。

レポートへのアクセス

- ステップ1 メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
 - ステップ2 左側のパネルから、クラウドの名前を選択します。
 - ステップ3 レポートのタイプ ([マップ (Map)]、[上位 5 (Top 5)]、[その他のレポート (More Reports)]) のタブを選択します。
-